浦添市って 子育てしやすいの？

浦添市の現状と子育て支援の取り組みについて紹介します。

目を輝かせて遊びに夢中になる子どもたち、元気に走り回る足音や大きな笑い声が聞こえると、自然と周りにいる大人たちにも笑顔が溢れます。

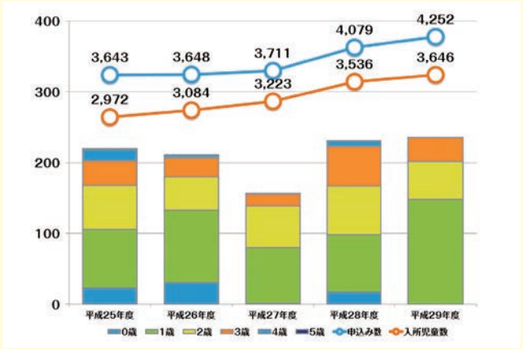
これまでは3世代で同居する世帯も多く、地域との距離も近かったため、家族や地域ぐるみで子育てを行っていました。近年では少子高齢化や核家族化、子を持つ親の就労形態の多様化、地域のつながりの希薄化など、子どもを取り巻く環境は大きく変わってしています。しかし時代が変わっても社会全体で子どもの成長を温かく見守り続けていくことは必要です。

浦添市は時代の変化や市民のニーズに合わせて「子を産み・育てやすい環境を整え、子育てをサポートする」ことが行政と地域の役割だと考えます。

そこで、浦添市では『家庭やその他の場において、子育ての意義についての理解が深められ、かつ、子どもを産み育てる喜びが実感されるよう配慮したまちづくり』を目指し、さまざまな取り組みを行ってきました。

市の待機児童数を年齢別でみると0～2歳児の割合が高くなっています。よって本市では0～2歳児を受け入れる小規模保育事業所の整備や、認可保育園の定員を増やすことにも力を入れています。結果、入所児童数は毎年増加していますが申し込み数も毎年増加しているため、待機児童数がなかなか減少していないのも現状です。

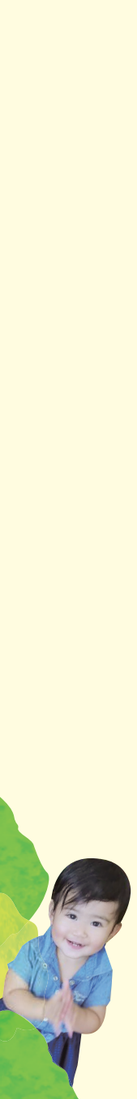
浦添市では就労世帯の増加に伴い、保育サービスの利用ニーズが高まっている現状も踏まえ、施設整備（ハード面）と保育士確保（ソフト面）の両面から待機児童解消に向けて「子育応援アクション5」取り組んでいます。



浦添市の待機児童数と保育所申し込み数と入所児童数

どこまで進んでる!?

てだこのまち 子育て応援アクション5!



ACTION 1 認可保育園の定員を増やします。

- 新設 4 か所（419 人増）
- 分園 3 か所（101人増）
- 増築 1 か所（30人増）

合計 550人増

ACTION 2 地域型保育を拡充します。（小規模保育等）

- 開設 8 か所 152人増

小規模保育とは…0～3歳未満児を対象とした、定員が6人以上19 人以下の少人数で行う保育です。家庭的な雰囲気のもと、きめ細やかな保育を行うことができます。

ACTION 3 認可外保育施設へ助成します。

- 多子世帯やひとり親世帯の保育料軽減 ➡ 実施
- 行事費の園児の補助増額
  4,000円 ↓ 6,000円へ ➡ 増額

ACTION 4 保育士を確保します。

保育士確保に関する様々な事業を展開中。

- 保育士試験対策講座（有資格者を増やします。）
- 宿舎借り上げ支援事業（家賃補助）
- オープン保育開催（気軽に保育園を見学・体験）
- ハローワークとの合同就職説明会（見える化面接会）
- 保育補助者講習会＆面接会（保育士の働きやすさ）

保育補助者とは…保育士資格不要で、保育以外の掃除・洗濯・片付けを担当します。保育士が保育の仕事が専念できるよう、保育補助者と協力することで保育士の負担軽減を図ります。

ACTION 5 公立幼稚園はさらに充実します。

- 平成 29 年4月から牧港幼稚園と浦添幼稚園をモデル園として給食の実施と3年保育を開始
- 平成 29 年7月に「浦添市立幼稚園の認定こども園移行に関する基本方針」を策定

認定こども園って何？

認定こども園とは、幼稚園と保育所の両方の良さを併せ持ち、教育・保育を一体的に行う施設で、保護者が働いている、いないに関わらず利用できます。例えば、保育所の場合、出産を機に仕事を中断すると「保育を必要とする」状態ではなくなり、退所を求められる場合があります。認定こども園では、こうした問題が解消されます。
また、「すべての子育て家庭の支援を行う施設」としての役割を担うので、就学前の子育ての悩みや不安、小学校へ入学した後も子どもの成長に応じた子育ての悩み等、保護者が気軽に相談できる施設です。